

68巻 医療 総目次

2014年(1-12)

VOL. 68 NO. 1

| | | |
|--|----------|-------|
| ■ 巻頭言 | | |
| -国立医療の架け橋- | 大島 久二 | 1-003 |
| ■ 総説 | | |
| 電子化された医療データの共有と二次利用の国際動向 | 星野 隆之 ほか | 1-004 |
| ■ 報告 | | |
| 心嚢ドレナージのみで消退傾向を示した心嚢水 Primary Effusion Lymphoma-like Lymphoma の1例 | 白石 幸恵 ほか | 1-011 |
| ■ 総合医学会報告 | | |
| シンポジウム：患者・家族の目線に立った医療を目指して -患者の権利をめぐる社会の動向をふまえて- | | |
| 医療機関の内側と外側の常識のずれを考える -医療ソーシャルワーカーと患者の権利オンブズマン市民相談員の視点から- | 高瀬 昌浩 | 1-016 |
| 医療の憲法「医療基本法」を求める | 小林 洋二 | 1-021 |
| ■ セミナー／カンファレンスシリーズ 第33回 | | |
| 治療抵抗性統合失調症の1例 国立国際医療研究センター国府台病院精神科症例検討会から | 久岡 哲也 ほか | 1-024 |
| ■ 図説 | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 1 とろみ | 宮本 佳世子 | 1-030 |
| ■ 集談会記事 | | |
| 第5回 関東信越ブロック 神経筋ネットワーク研究会抄録 | | 1-035 |

VOL. 68 NO. 2

| | | |
|--|----------|-------|
| ■ 総説 | | |
| 心房細動と新規経口抗凝固薬 | 是恒 之宏 | 2-055 |
| ■ 報告 | | |
| 胸部拡張差が随意的咳嗽力へ及ぼす影響について | 垣内 優芳 ほか | 2-062 |
| 医師事務作業補助者による退院サマリー作成支援の効果について | 川本 俊治 ほか | 2-066 |
| ■ 総合医学会報告 | | |
| シンポジウム：学生の思考を育てる | | |
| 看護実践に求められる思考力を育成する -講義・演習で思考力を育成する教育方法- | 池西 静江 | 2-072 |
| 学生の思考を深化させるためのフィジカルアセスメント教育の検討 | 山田 巧 | 2-076 |
| 学生の思考力を育てる授業づくり | 新井 英靖 | 2-082 |
| ■ 集談会記事 | | |
| 第25回 東海北陸神経筋ネットワーク会議・研究会 | | 2-086 |

VOL. 68 NO. 3

| | | |
|-----------------|---------|-------|
| ■ 総説 | | |
| C型肝炎治療における亜鉛の意義 | 高木 均 ほか | 3-103 |
| ■ 原著 | | |

急性期病院での脳卒中リハビリテーション患者における土曜訓練の効果……………渡 辺 伸 一 ほか 3-109

■ 報 告

汎発性血管内血液凝固症における

遺伝子組み換えトロンボモデュリン α 療法の実績……………関 本 裕 美 ほか 3-116

■ 総合医学会報告

シンポジウム1：医療の質の「みえる化」-その意義と方法-

クリティカルパスを用いた医療の質の「みえる化」と質向上のための方策……………井 口 厚 司 3-124

シンポジウム2：精神科医療の現状と展望

精神科専門病院にスケールメリットはあるか?……………橋 本 喜次郎 3-128

医療観察法指定入院医療機関の「今日まで、そして明日から」……………吉 岡 眞 吾 3-132

■ 図 説

「栄養と嚥下」シリーズ No. 2

食事形態……………宮 本 佳世子 3-137

■ 集談会記事

第1回 北海道東北筋強直性ジストロフィー臨床研究会…………… 3-144

VOL. 68 NO. 4

■ 総 説

ワーク・ライフ・バランスのための短時間正職員制度の拡大……………小 林 信 や ほか 4-165

■ 論 説

事前指示と事前ケア計画-「想定外」に対応する方法の考察……………伊 藤 博 明 4-170

■ 原 著

高齢者と若年者におけるめまい集団入院リハビリテーションによる

治療効果の比較……………五 島 史 行 ほか 4-175

■ 報 告

腹部大動脈瘤を合併した大動脈弁狭窄症の治療経験……………熱 田 義 顕 ほか 4-182

■ 総合医学会報告

シンポジウム：国立医療における薬剤師の役割 -未来を見据えた取り組み-

……………座長 野 村 敏 治 ほか 4-186

心臓移植患者に対する薬剤師の役割……………和 田 恭 一 4-189

救急医療における薬剤師の専門性と役割……………畝 井 浩 子 ほか 4-194

■ 図 説

「栄養と嚥下」シリーズ No. 3

再形成ソフト食……………日 浦 さやか ほか 4-199

VOL. 68 NO. 5

■ 総 説

脳静脈血栓症の診断と治療……………中 根 博 5-217

■ 原 著

男性下部尿路症状・前立腺肥大症に対する生活習慣改善の効果……………岡 村 菊 夫 ほか 5-223

■ 報 告

尿路奇形を合併し急激に発症したインスリン依存性糖尿病

-若年発症成人型糖尿病 MODY 5 の 1 例-……………財 前 行 宏 ほか 5-230

■ 総合医学会報告

シンポジウム1：ICH-GCP に準拠した大規模臨床研究を推進するために

……………座長 是 恒 之 宏 ほか 5-236

ICH-GCP に準拠した国際共同臨床研究支援について……………小 林 典 子 5-240

国際共同臨床試験のモニタリングを経験して……………山 本 晴 子 5-245

シンポジウム2：障害者自立支援法，児童福祉法の改正に伴う，

「重症心身障害児・者の支援」の運営の問題点と課題

| | | |
|--|--------|-------|
| 障害者自立支援法が及ぼした影響…………… | 中川 義信 | 5-250 |
| 国立病院機構における重症心身障害児（者）の入所支援および 在宅支援の課題…………… | 岡村 俊彦 | 5-255 |
| ■ 図 説 | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 4 | | |
| 重症心身障害児（者）の摂食・嚥下障害と栄養管理…………… | 小原 仁ほか | 5-260 |

VOL. 68 NO. 6

| | | |
|--|---------|-------|
| ■ 総 説 | | |
| 経管栄養患者の発熱および肺炎の予防法 | | |
| ー歯磨きおよびリハビリテーションの追加の効果ー…………… | 及川 隆司ほか | 6-281 |
| ■ 原 著 | | |
| がん専門病院における持参ハイリスク薬の実態と 病棟専任薬剤師による業務の実態調査…………… | | |
| | 鈴木 真也ほか | 6-291 |
| ■ 報 告 | | |
| 徳島病院におけるパーキンソン病専門入院リハビリテーションの取り組み…………… | 有井 敬治ほか | 6-300 |
| 肺過誤腫より発生したと考えられた原発性肺腺癌の1例…………… | 内田 信宏ほか | 6-306 |
| ■ 図 説 | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 5 | | |
| 嚥下食の物性…………… | 佐藤 友美ほか | 6-311 |

VOL. 68 NO. 7

| | | |
|--|------------|-------|
| ■ 総合医学会報告 | | |
| シンポジウム：診療看護師（JNP）の現状と課題 | | |
| …………… | 座長 藤木 則夫ほか | 7-329 |
| 統括診療部として診療看護師（JNP）を受け入れている立場から | | |
| ー受け入れ準備から現状までー…………… | 奥田 聡 | 7-332 |
| JNP 養成の現状と将来展望 ー指導医師の立場からー…………… | 菊野 隆明ほか | 7-337 |
| 診療看護師と看護師が連携・協働することの効果と 看護部門としての支援…………… | | |
| | 福田 淑江 | 7-341 |
| 診療看護師（JNP）として活動して よりよいチームづくりとは？ | | |
| ー機構病院の医療の向上に寄与できるかー…………… | 山口 壽美枝 | 7-347 |
| 診療看護師（JNP）としての活動 | | |
| ー患者，医療者に対するメリットとデメリットー…………… | 石原 夕子 | 7-351 |
| ■ 報 告 | | |
| NHO 臨床研究中核病院記念シンポジウム…………… | 直江 知樹ほか | 7-355 |
| ■ 図 説 | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 6 | | |
| 高齢者の嚥下障害と栄養管理…………… | 小原 香耶 | 7-359 |

VOL. 68 NO. 8

| | | |
|----------------------------------|----------|-------|
| ■ 総 説 | | |
| 後期高齢者肺癌に対する外科治療 ー現状と展望ー…………… | 矢野 篤次郎ほか | 8-379 |
| ■ 論 説 | | |
| 国府台病院の治験施設支援機関活用法…………… | 榎本 哲郎ほか | 8-386 |
| ■ 原 著 | | |
| 電子カルテを使ったりビング・ウィルと終末期事前指示の登録にみる， | | |

| | | | |
|---|--------|----|-------|
| がん疾患患者と非がん疾患患者の比較…………… | 川本俊治 | ほか | 8-392 |
| ■ 報 告 | | | |
| クロピドグレルによる発症が疑われた後天性血友病 A の 1 例 …………… | 渡邊 彰 | ほか | 8-400 |
| Extended Spectrum Beta-lactamase (ESBL) | | | |
| 産生菌アウトブレイク後の環境モニタリング効果の検討…………… | 松本 いつか | ほか | 8-405 |
| ■ 図 説 | | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 7 | | | |
| 脳卒中患者の摂食・嚥下障害と栄養管理…………… | 小原 仁 | ほか | 8-409 |

VOL. 68 NO. 9

| | | | |
|--|---------|----|-------|
| ■ 原 著 | | | |
| 入院統合失調症患者における脂肪肝の有無と | | | |
| メタボリックシンドローム関連因子および摂取栄養量との関連…………… | 中野美樹 | ほか | 9-427 |
| 京都医療センターでの医療連携への取り組み…………… | 塚原 徹也 | ほか | 9-433 |
| ■ 総合医学会報告 | | | |
| シンポジウム：地域連携クリティカルパスの現状と課題 | | | |
| …………… | 座長 井口厚司 | | 9-442 |
| 熊本市における大腿骨近位部骨折地域連携クリティカルパスの現状と課題…………… | 前田 智 | | 9-445 |
| 脳卒中地域連携クリティカルパスの現状と課題…………… | 酒井圭一 | ほか | 9-448 |
| がんの地域連携クリティカルパスの現状と課題…………… | 藤 也寸志 | ほか | 9-452 |
| 地域連携クリティカルパスの電子化における現状と課題…………… | 松本武浩 | | 9-457 |
| ■ 報 告 | | | |
| 非定型抗精神病薬により重篤な嚥下障害が発症した 1 例…………… | 今井教仁 | ほか | 9-461 |
| ■ 図 説 | | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 8 | | | |
| 神経筋疾患の嚥下障害と栄養管理…………… | 鎌田裕子 | ほか | 9-466 |

VOL. 68 NO. 10

| | | | |
|----------------------------------|---------|----|--------|
| ■ 総 説 | | | |
| B型肝炎の診断と治療の変遷 | | | |
| -B型肝炎発癌抑止に向けて…………… | 加藤道夫 | | 10-485 |
| ■ 総合医学会報告 | | | |
| シンポジウム：院内感染対策の地域連携と各職種の役割 | | | |
| …………… | 座長 太田和秀 | ほか | 10-497 |
| 院内感染対策における地域連携と医師の役割…………… | 馬場尚志 | | 10-500 |
| 院内感染対策の地域連携と各職種の役割 看護師の立場から…………… | 藤田 烈 | | 10-504 |
| 院内感染対策の地域連携と薬剤師の役割…………… | 島田 泉 | ほか | 10-508 |
| 院内感染対策の地域連携と臨床検査技師の役割…………… | 浅香敏之 | | 10-513 |
| ■ 報 告 | | | |
| 橈骨遠位端骨折後の日常生活における | | | |
| 患側手の使用状況と治療成績の関連性…………… | 垣下真宏 | ほか | 10-516 |
| ■ 図 説 | | | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 9 | | | |
| 上部消化管術後における嚥下障害と栄養管理…………… | 真鍋 悟 | | 10-521 |

VOL. 68 NO. 11

| | | | |
|-------------------------|------|--|--------|
| ■ 論 説 | | | |
| 在宅医療は、医療の人間化を推し進める…………… | 飯島克巳 | | 11-537 |

■ 総合医学会報告

シンポジウム：摂食・嚥下・栄養障害 ー病院から在宅へー

| | |
|---|--------|
|座長 河崎 寛 孝 | 11-541 |
| 病院における運動と栄養へのアプローチ | |
| ー理学療法士にできることー.....伊集院 万人 | 11-544 |
| 急性期病院における摂食・嚥下リハビリテーションの現状と在宅への連携の試み | |
| ー金沢医療センターと金沢在宅 NST 経口摂取相談会ー.....村上 美矢子 | 11-549 |
| 訪問診療と「経口摂取相談会」.....小川 滋彦 | 11-555 |
| 在宅訪問栄養食事指導の実際と効果.....中村 育子 | 11-559 |
| ■ 報 告 | |
| レセプトデータによるクリティカルパスの分析とその応用.....小早川 儀 雅 ほか | 11-563 |
| ■ 集談会記事 | |
| 第26回神経筋ネットワーク会議・研究会..... | 11-568 |

VOL. 68 NO. 12

■ 論 説

| | |
|------------------------------|--------|
| 体内時計からみた心筋梗塞発症メカニズム.....加藤 徹 | 12-591 |
|------------------------------|--------|

■ 原 著

| | |
|----------------------------------|--------|
| 気管支喘息と咳喘息の鑑別における | |
| 呼気一酸化窒素濃度の有用性に関する研究.....下田 照文 ほか | 12-597 |

■ 総合医学会報告

シンポジウム：多職種からみた高齢者医療

| | |
|---|--------|
|座長 鄭 東 孝 ほか | 12-606 |
| 高齢者の栄養管理.....宮内 眞 弓 ほか | 12-609 |
| 在宅医療連携拠点事業事務局の立場からみた医療・介護連携 | |
| ー地域包括ケアにおける多職種の有機的な連携システム構築に向けてー.....後藤 友子 ほか | 12-612 |
| 多職種からみた高齢者医療 | |
| ーソーシャルワーカーの視点からー.....津々見 瑞 恵 | 12-618 |
| ■ 報 告 | |
| Sister Mary Joseph's Nodule が腭癌診断の契機となった1例.....佐々木 優 ほか | 12-621 |
| ■ 函 説 | |
| 「栄養と嚥下」シリーズ No. 10 | |
| 摂食・嚥下障害の評価.....鎌田 裕子 ほか | 12-626 |